

○建築設計標準に以下の内容を追記する。

- ・ 自動的に解錠又は通報等されることについては、トイレ内外に設定時間及びその旨の表示をすることにより、事前に利用者に対して知らせる。なお、設定時間経過後に戸が自動で開くものについては、戸が自動で開かない設定に変更するなど、利用者の尊厳が守られるよう配慮する。…①
- ・ 施設管理者等が通報等を受け、戸を開けようとする際には、事前に利用者へ声かけを行い内部の状況を確認する等、利用者の尊厳が十分に守られるよう配慮する必要がある。…②

<追記箇所> 建築設計標準 P.105 「自動式引き戸」

10.2.3.2.3 自動式引き戸

- ・ 施錠の操作がしやすいものとし、緊急の場合は外部からも解錠できるものとする。
- ・ 介助者等による外からの戸の開閉に関わらず、高齢者、障害者等が便房内にいる状態では便房内の照明・換気扇等が停止しない機能を有するものとする。
- ・ 手かざしセンサー式が使いにくい人もいることから、戸の開閉盤（開閉スイッチ）は操作しやすい押しボタン式とする。
- ・ 戸の開閉盤（開閉スイッチ）は、車椅子使用者が中に入りきってから操作できるよう配慮する。
- ・ 戸の開閉盤は、戸から70cm以上離して設置し、その設置高さは100cm程度とする。
- ・ 使用中である旨を表示する装置を設置する。
- ・ 非常時対応や防犯のために時間制限により自動的に解錠される設定とする場合は、解錠時間を長めに設定することが望ましい。●●●●●●●●①を追記するとともに、留意点として②を追記
- ・ 使用時の安全性を確保するため、JIS A 4722(歩行者用自動ドアセット-安全性)の車椅子使用者用便房用自動ドアセットに準拠したものとする。

参考：JIS A 4722:2022準拠 歩行者用自動ドアセット<バリアフリートイレ>安全ガイドブック

(全国自動ドア協会)

- ・ JIS A 4722で求められている自動ドアの安全対策、バリアフリートイレ用自動ドアの安全対策、建築設計者・発注者の安全対策、JIS A 4722で求められている建物管理者の安全対策、車椅子使用者用便房と一般便房の要求事項一覧、全国自動ドア協会からの推奨事項等が示されている。

http://www.jada-info.jp/documents/topics/anzen_guide_book_JISA4722_2022_bf.pdf

<設計例>



戸の開閉盤(トイレの内側)の横に設定時間等の表示がされている事例